

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 61 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日時 2014 年 11 月 18 日 (火) 14:30~16:00
2. 場所 5 東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)  
(出席委員) 有富部会長, 新堀副部会長, 加藤幹事, 内山, 江頭, 大久保, 小畑,  
金木, 熊谷, 小山, 仙波, 深澤(途中から入室), 柳原, 山本 (14 名)  
(代理出席委員) 吉原恒一((一社)原子力安全推進協会/川上代理), 坂井彰浩((独)  
日本原子力研究開発機構/高橋代理), 塩見隆行(関西電力(株)/藤井  
代理), 杉山大輔(電中研/藤田代理) (4 名)  
(欠席委員) 大島, 木倉, 坂下, 仲神, 中島, 平井 (6 名)  
(常時参加者) 丸岡(原子力規制庁) (1 名)  
(説明者) [LLW 廃棄体等製作・管理分科会] 柏木 誠(日揮(株)), 田中 正人(公  
財)原子力環境整備促進・資金管理センター, 都筑康男(委員/(一社)  
原子力安全推進協会) (3 名)  
(オブザーバ) 都筑康男((一社)原子力安全推進協会), 北島 英明((一社)原子  
力安全推進協会) (2 名)  
(事務局) 中越, 谷井 (2 名)

4. 配付資料

- |              |   |
|--------------|---|
| FTC61-0      | 第 61 回原子燃料サイクル専門部会議事次第                                      |
| FTC61-1      | 第 60 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)                                   |
| FTC61-2-1    | 人事について  |
| FTC61-2-2    | 人事について (FTCF59-2 の修正版)                                      |
| FTC61-3-1    | 「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法 (案)」 書面投票<br>結果報告                   |
| FTC61-3-2    | 第 60 回原子燃料サイクル専門部会 (2014. 9. 12) 本報告時のコメント<br>等             |
| FTC61-3-3    | 余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法 (案) のサイクル専<br>門部会書面投票コメント一覧表         |
| FTC61-3-4    | 余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法 (案) のサイクル専<br>門部会書面投票コメントへの対応の変更点比較表 |
| FTC61-5 (参考) | 技術基準と適合するための技術要素及び技術的要件                                     |
| FTC61-4      | 分科会活動状況報告   |

参考資料

- |            |                  |
|------------|------------------|
| FTC61-参考 1 | 原子燃料サイクル専門部会委員名簿 |
| FTC61-参考 2 | 標準委員会の活動状況       |

## 5. 議事内容

事務局から開始の時点で委員 24 名中、代理委員を含む 17 名の出席があり、成立に必要な委員数（16 名以上）を満足している旨報告された。

### (1) 前回議事録の確認 (FTC61-1)

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

### (2) 人事について (FTC61-2-1)

事務局から配付資料 FTC61-2-1 に基づいて、分科会での下記の確認又は承認事項について、審議の提案があった。

#### 1) 委員退任の確認

L L W廃棄体等製作・管理分科会

金子悟(日本原燃(株))

七田 直樹(東京電力(株))

L L W埋設後管理分科会

武内 邦文 (株式会社大林組)

#### 2) 委員選任の承認

L L W廃棄体等製作・管理分科会

熊谷守(日本原燃(株))

新津 茂彦(東京電力(株))

L L W処分安全評価分科会

新津 茂彦 (東京電力(株))

塩見 隆行 (関西電力(株))

近江 正 (日本原子力発電(株))

杉山 大輔 ((一財)電力中央研究所)

石田 圭輔 (原子力発電環境整備機構)

石原 義尚 (三菱重工業(株))

L L W埋設後管理分科会

山本 修一 (株式会社大林組)

#### 3) 常時参加者登録の確認

L L W廃棄体等製作・管理分科会

大塚 伊知郎(原子力規制庁)

江河 正利( (株) 関電パワーテック)

小野 洋伸( (株) 関東技研)

#### 4) 常時参加者登録解除の確認

L L W廃棄体等製作・管理分科会

前田 二三男( (株) 関電パワーテック)

審議の結果、提案は承認された。

(3) 人事について (FTC61-2-2)

事務局から配付資料 FTC61-2-2 に基づいて、分科会での下記の承認事項について、審議の提案があった。本議題は、第 59 回の人事についての議題において、臨界安全管理分科会の常時参加者の登録及び解除については当該所属名及び当該日付を後で事務局で確認し、その結果を次回で報告する条件付けで事務局案を承認することとなっていたため、今回他に見出した修正を含めて報告を行ったものである。

LLW廃棄体等製作・管理分科会

大塚伊知郎(独) 原子力安全基盤機構) 2014年2月28日

2)常時参加者の登録【報告事項】

臨界安全管理分科会

山口正男(独) 原子力安全基盤機構) 2014年5月19日

3)常時参加者の解除【報告事項】

LLW廃棄体等製作・管理分科会

井上 亮(原子力規制庁) 2014年4月14日

臨界安全管理分科会

海老原雅典(原燃輸送株式会社) 2013年5月19日

審議の結果、提案は承認された。

(4) 【報告・審議】「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX

(案)」の原子燃料サイクル専門部会書面投票の結果及びその対応

(FTC61-3-1, FTC61-3-2, FTC61-3-3, FTC61-3-4, FTC61-3-5(参考5))

事務局から配付資料 FTC61-3-1 に基づいて、“余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX (案)”の原子燃料サイクル専門部会の書面投票の結果、反対票はなく標準(案)は可決されたことが報告された。

引き続き、LLW廃棄体等製作・管理分科会の柏木委員、田中委員、都筑委員から配付資料 FTC61-3-2, FTC61-3-3, FTC61-3-4, FTC61-3-5(参考5) に基づいて、“余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法：20XX (案)”の原子燃料サイクル専門部会での本報告でのコメント及び書面投票でのコメントに対する回答・対応について提案があった。

主な質疑等は、以下のとおりである。

Q:粉体状の放射性廃棄物は固型化しなければならないという技術基準に対する対応(粉体層を含む放射性廃棄物の非固型化に対する考え方)について、どのように変えたのかの補足説明をして欲しい。

A:技術基準では、3種類の放射性廃棄物に関して、それぞれ製作方法を定めてい

る。

液体状の放射性廃棄物：固型化

粉体状の放射性廃棄物：固型化

固体状の放射性廃棄物：封入又は固型化

本標準では、製作者側からのニーズが考えられた液体状と固体状の放射性廃棄物の製作方法について示しており、いずれの廃棄物に関する記載かを明確にすることで、誤解を生じない対応とした。

Q:セメント浸出水については、規制されないとのことであるが、どのような化学物質が検討されるのか。

A:具体的な化学物質は安全評価の時に検討されると思われるが、少なくとも埋施設及び廃棄体の主成分については考慮された評価となるため、制限を受けないと考えられる。

Q:①受入要件が度々出てくるが、その内容については、いずれかの標準で規定すべきではないかと思う。

②鋳造容器に関する記載内容が不足しているように見受けられるが？

③仕様が明確になった段階で追記する必要性を解説などで示しているのか？

A:①安全評価の要求条件であり、この標準ではないと考えられる。また、受入要件の詳細については、今後、安全審査実施時に明らかになるため、学会標準としては、安全評価の標準に記載されるのが適切と考えられる。

②鋳造容器に関しては、現在、詳細仕様を検討中であり、明確になった段階で、附属書などに示す計画である。

③説明が欠落したが、解説にその旨を記載している。

Q:容器の“密閉性”の性能レベルに関して、何か技術的な根拠などを教えてほしい。

A:附属書Hの表H.3にて、密閉性、気密性、密封性の3つのレベルについての基本的考え方を、参考文献などの実例を含め示している。

廃棄体容器への要求性能は、密閉性（固体の閉じ込め）であるが、溶接容器は実力として気密性（液体の閉じ込め）を満足する。

審議の結果、1)提案するコメント対応内容は編集上の修正であること及び  
2)上記内容を標準委員会で説明することが決議された。

(5) その他（次回日程）

・次回第62回原子燃料サイクル専門部会は、3月6日（金）午後から開催することとなった。

以上